

全国大学演習林協議会(2023年9月28日)にて、フィールド部門の矢澤速仁技術専門職員が「SSS 林施業の普及と地域ネットワークを生かした教育関係共同利用への貢献」で森林管理技術賞(技術貢献賞)を受賞されました。また、同じくフィールド部門の宇佐美敦技術専門職員が「野生動物・木本植物関連実習コンテンツの開発及び急傾斜丘陵地での高密度路網整備」で森林管理技術賞(賞若手奨励賞)を受賞されました。



(写真左から 矢澤さん、宇佐美さん)

矢澤さんは、天竜フィールドで行われている SSS システム(小規模森林経営者が持続的かつ生態系に配慮した森林経営)の森林管理実務のリーダーとして活躍しています。また、このような取り組みを、地域のネットワークを通じて普及する活動にも関わっています。これらの実績が高く評価され、技術貢献賞を受賞されました。

宇佐美さんは、土壌動物から植物にわたる幅広い知識や調査経験を活かして各種実習メニューの構築や教育素材の開発に多大な貢献を果たしています。また、作業道の延長や拡幅といった路網整備を計画から施行までほぼ一人で行い、計画的な森林経営を実現するための基礎を築きました。これらの実績が高く評価され、若手奨励賞を受賞されました。